



# 日本太鼓財団

## NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2024年夏号

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

公益財団法人 日本太鼓財団 代表理事 佐々城 清

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email : [info@nippon-taiko.or.jp](mailto:info@nippon-taiko.or.jp)

## 日本太鼓ジャンボリー 2024 ～北海道から九州まで12団体が熱演～

6月9日(日)に文京シビックホール(東京都文京区)にて日本太鼓ジャンボリー2024を開催しました。

東京都支部合同チームの息の合った演奏で幕が上がり、東京都支部 湯澤 元一 支部長の挨拶の後、全国から集まった11団体が華麗なバチさばきや迫力のある演奏を繰り広げました。令和6年能登半島地震で被災された太鼓団体も参加し、故郷の音を会場に響かせ、祈りと復興への願いを太鼓演奏に込めました。

最後は、出演団体全員が舞台に並び、長谷川義会長の音頭でお客様とともに手締めを行い、盛況裡に終わりました。1,100名ものお客様にご来場いただき、数多くのご好評の声をいただきました。

ご来場いただいた皆さま、並びに関係者の方々に心より感謝申し上げます。

### 1. 日本太鼓財団東京都支部合同チーム(東京)

東京都支部加盟26団体から選ばれた46名が、江戸伝統の祭太鼓のリズムをベースとした合同曲「櫓」を披露しました。年齢や性別、所属団体の枠を越えて想いを一つにしてオープニングを飾りました。



### 2. 輪島・和太鼓 虎之介(石川)

輪島市を拠点に2000年に結成されました。地震によりメンバーたちは被災し、十分な練習ができない状況の中、当日はしっかりとした打ち込みを披露し、被災地へ希望を届けました。



### 3. 信州上田真田陣太鼓保存会(長野)

1985年に放映されたNHKドラマ「真田太平記」をきっかけに発足しました。戦国時代に活躍した真田昌幸と幸村の知略と武勇を、勇ましい演舞や陣太鼓で表現してくれました。



### 4. 輪島高洲太鼓(石川)

2001年に輪島市内の小中高生を中心に設立され、地震で大きな被害を受けました。能登のお祭り「輪島大祭」を舞台で再現し、「切籠」を担ぎ、太鼓や鉦を打ち鳴らし、観客を魅了しました。



## 5. 関東やまと太鼓 (東京)

盆太鼓を愛する5人の若者により発足し、昨年50周年を迎えました。繊細なリズムや抑揚に加え、打ち込みの要素を取り入れた楽曲を披露しました。



## 7. 櫛引秀明 (北海道)

室蘭市にて地獄太鼓代表及び北海道道南支部支部長として活動されています。2023年度「第20回日本太鼓シニアコンクール」で名人位に輝き、内閣総理大臣賞を受賞されました。



## 9. 御陣乗太鼓保存会 (石川)

輪島市名舟町の男子のみに受け継がれ、面を被り鬼気迫る太鼓は、1963年に石川県指定無形民俗文化財に指定されています。震災により町民総避難地区となりましたが、能登の誇りを響かせました。



## 11. 高野右吉と秩父社中 (埼玉)

12月の始めに行われる「秩父夜祭」の打法を次代に伝えるために1954年に設立されました。お祭りを彩る華やかなお囃子を東京の舞台で再現しました。



## 6. 恵炎 (京都)

瓜生山学園京都芸術大学を拠点に2000年に結成し、和太鼓の芸術的可能性を日々追求しています。大太鼓の両面を男女で打ち合い、陰陽を表現しました。



## 8. 梵天 (東京)

1999年に結成のチームで、小林政高代表が經典の文字から着想を得て作曲した「縛日羅」を演奏しました。緊張感の高い鉦の音から始まり、ラストはエネルギーに満ちた希望ある世界を表現しました。



## 10. 三代目源流 (大分)

2014年に結成した「ゆふいん源流少年隊」の代表チームであり、洗練された打ち込みが評価され、2023年度「第26回日本太鼓ジュニアコンクール」で2度目の優勝に輝き、内閣総理大臣賞を受賞されました。



## 12. 野武士 (福岡)

1998年に結成され、伝統的な太鼓音楽だけにとらわれず、独自のスタイルとアイデアで和太鼓を駆使し、最後に会場を大いに盛り上げました。



## 「日本太鼓ジャンボリー出演にあたり」

輪島・和太鼓 虎之介 橋爪 朱宗

この度は日本太鼓ジャンボリー 2024に出演させていただき、関係者の皆様方には御礼申し上げます。

元旦に起きました、令和6年能登半島地震におきましても、日本太鼓財団様を始め、沢山の太鼓関係者の皆様方より多大なる御支援をいただいております、重ねて御礼申し上げます。

今回の日本太鼓ジャンボリーにつきましては、出演のお話をいただいた際、子供達に被災した中でも良い思い出を作ってもらいたいとお話をいただき、今回出演をさせていただきました。メンバー一同もあれだけ沢山の皆様を前にしての演奏は、緊張を見せる場面もありましたが、そういった中でも楽しく演奏をさせていただきました。演奏後は緊張したと皆で話をしておりましたが、充実感のある表情を見た時は、この出演のお話を受けて良かったと新しい良い思い出がまた一つ増えました。今回、出演させていただき、改めて演奏できる環境があるということは、大変ありがたいことだと実感しております。現在も稽古場所が被災しており、通常稽古もできておりません。そういった状況の中、皆様より沢山の御支援をいただき、これまで活動ができております。支えてくださっている皆様への感謝の気持ちを込めて、そして、能登の灯火を絶やさぬよう、和太鼓を通じて、被災地に元気や感動をお届けできるよう精進してまいります。

## 「日本太鼓ジャンボリー 2024に出演して」

信州上田真田陣太鼓保存会 春原 夕紀

この度は「日本太鼓ジャンボリー 2024」の素晴らしいコンサートに出演させていただき、誠にありがとうございました。

出演が決まり、「こんな奇跡のようなチャンスは2度と来ない!!」と、日々の練習にも熱が入り当日を迎えました。出演団体は名高いチームばかりです。このステージで多くのお客様に「真田魂」の太鼓を見ていただけたことが嬉しかったです。各団体の血沸き肉躍る太鼓演奏は今も思い出すと興奮が蘇ります。演出も素晴らしく、太鼓のセッティングを魅せるステージの作り方や、阿吽の呼吸で独特な間を合わせる演奏など、打ち手として学ばせていただいたことも多くありました。コンサートが終わった後には、出演者やスタッフの方と一緒に写真を撮ってもらったり握手を交わして話ができただけでも大変励みになりました。

そして、このコンサートで、何年も前に太鼓でお世話になった懐かしい方々と再会することができました。本当に嬉しかったです。懐かしく話をしました。温かく接して下さったことに感謝の気持ちでいっぱいです。真田陣太鼓の演奏を見て、当会の亡き打ち手メンバーを思い出して下さり、お声掛けして下さった方もいらっしゃいました。太鼓財団を通じて沢山の太鼓仲間がいるということが、とても有難く心強かったです。最後に、日本太鼓財団の皆様、スタッフの皆様、素晴らしい機会を作っていただきましたことに感謝いたしますと共に厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

## 「日本太鼓ジャンボリー 2024を終えて」

関東やまと太鼓 宮岸 良英

緞帳が上がり拍子木の小気味良い音が客席の奥まで通ってゆく。東京都支部の仲間約50人が晴れやかに楽しくオープニングの合同演奏曲"禪"を打ち込みます。これまで何十回と演奏してきましたが一番のできだったのではと実感。ひと月程前に、都支部の仲間の会長が突然亡くなられました。ベースの鉄筒の元に写真を置いて皆が想いを込めての合同演奏でした。

昨年、関東やまと太鼓は発足より50年を迎えました。目標であった浅草三社祭での演奏を象潟町会で実現、本社神輿にお囃子もつける夢も叶いました。ジャンボリーにて、全国からのよりすぐりのチームと同じ舞台上で演奏することも、大きな目標でしたので、大変嬉しく光栄でした。

さて、今回は石川県から3団体出演されましたが、出演者の大半が自宅に住めなくなり避難しているチームの現状も聞き、集まった練習もままならない中でも太鼓で絆を繋ぎ前に進んでいる姿に、一刻も早い復興をと、切に感じました。伝統の太鼓に創作太鼓に、プログラム、演出も良かった!と、呼びかけて観にくてくれたお客様からの沢山の声が届きました。

日本太鼓財団の東京でのイベントでは毎回、舞台の進行などに都支部の仲間達が、また太鼓器材の協力会社も、素晴らしい連携でサポートしてくれています。改めて感謝申し上げますとともに、これからも和太鼓文化を盛り上げていけるよう一層励んでまいります。

## 3月のジュニアコンクールに来日した海外2団体より感想文をいただきました。

### オザスコ轟太鼓 代表 上和田 ファビオ 英樹

今回の大会で自分の夢が実現できました。2011年8月にジュニアコンクールに出場して以来、若い人たちにこの経験を提供したいという願いがありました。13年後についに叶いました。

日本滞在中に私たちをサポートし続けたすべての人々が私たちが歓迎してくれました。また、案内、受け入れる準備ができていました。事前に送られてきたスケジュールは、日本へ出発の計画、バックパックスの準備を整えるのに大いに役立ちました。提案されたスケジュールはとても気に入りました。大会前に、富士山、富士急ハイランド、御殿場アウトレットを訪れることができました。その時に滞在した河口湖のほとりの素晴らしいホテルでは、美しい景色、温泉、居心地の良さ、静けさが皆の心をつかんでいました。

大会の日々は非常に激しいものでしたが、早めに到着したおかげで、私たちは環境に慣れることができました。トレーニング、リハーサル、そして大会での良いパフォーマンス。スタッフの皆さんは非常に親切で、私たちをととても歓迎してくれました。出場者たちをより安心させ、自信を持たせてくれました。そして、貸し出された太鼓の質、種類、量は私たちの演奏を完璧にし、私たちはうまく適応することができました。ブラジル、台湾、前回優勝チームとの夕食会は驚きのイベントで、とても楽しく、インタラクティブでした。残念ながら、時間が短く、もっと他の出場者と交流し、彼らの現実と文化を知りたいと思いました。

大会後の日々は色々な感情が混ざっていました。大会での成功に対する幸せ、安堵、そして終わりに近づいていく悲しさ。しかし、長谷川先生のトレーニング、JICA 海外移住資料館で私たちの起源について学び、理解し、そして日本財団での尾形理事長との出会いなど、多くの経験を得た日々でした。

日本太鼓財団の皆さんありがとうございました。

### 鐘ヶ江 ジュリア 直美

日本滞在は非常に素晴らしいものでした。沢山新しい経験や学びがあり、旅行中のすべての方々に温かく迎えられ、大きなサポートを受けました。日本の楽器で演奏し、特にその会場で演奏できた経験は、演奏者たちの心を躍らせました。夢を實現していると感じました。3月22日(金)の1時間の練習は、楽器に慣れるために非常に重要でした。大会の日には、全力で演奏する準備ができました。大会で3位になったことは驚きであり、同時に夢にまで見ていたものでした。日本を訪れ、国に魅了されました。富士山を間近で見る経験は言葉では表現できないほどでした。富士急ハイランドに行き、富士山の景色を楽しむと同時に予期せぬ雪を見ることができました。街を散策し、異なる料理を楽しむこともできました。日本で滞在は本当に夢のようであり、私たちの心に永遠に残るでしょう。日本で

学んだ太鼓の技術や経験は、ブラジル太鼓団体にも伝えていきたいと思っています。



(富士山の目の前で オザスコ轟太鼓)

### 柏齡太鼓團 代表 陳力愷

この度日本太鼓ジュニアコンクールに参加させていただき、競う事によりメンバー達は貴重な挑戦と成長の経験をいただきました。そして、私達の太鼓技術を存分に表現出来た事から、日本太鼓文化にもっと魅せられました。

まず、コンクールの前に色々準備の中で子ども達はチームワークの重要性を知り、個々の力を尽くして練習に励んでいました。

コンクールでは世界、日本各地からのチームと競い合うのみならず、他のチームの演奏の見学など貴重な学習チャンスをいただきました。子ども達が大きな舞台に立っている姿を見ると誇らしく感動しました。子ども達はコンクールの中で挫折にあっても負けずに耐えて、自分を突破しました。これは子ども達にとって大きな成就になります。

コンクールで自分達の改善点がある事に気づき、これから改善に向けて、努力してまいります。

この度、コンクールに参加する過程の中で自分達の技術向上になった以外に視野も広くなり、とても良い思い出になりました。そして、頑張る力を激励され、前向きにもっと高い目標を追求し、再び台湾代表としてコンクールに参加したいです。

日本太鼓財団の長谷川会長を始め、太鼓財団の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

### 陳品蓁

私は初めて日本太鼓ジュニアコンクールに参加しました。台湾では台湾太鼓ジュニアコンクールに参加し、努力した結果、優勝しました。日本へ行く切符を手に入れることが出来ました。とても嬉しかったです。

リハーサルの時に沢山のチームを見学している内に心の中が段々ドキドキしてきて不安な気持ちが強くなりました。私たちの番になり、広いステージに気がつきました。音の伝達にも時間差があり、一番後ろにいる私はいつもより力強く、早いスピードで打たなければなりません。掛声も大きく叫ばないと聞こえない程でした。心配のまま大会に挑みました。

大会当日は、本番に影響しないように朝早くからすべての持ち物の点検を行うなど、慎重に準備し、気持ちを整えるようにしました。会場に着き、各チームは順序良く入場を待っていました。開場の時間になると沢山の観客がぞろぞろ入って来ます。

私たちは最後の出番です。待つ時間が長く、ずっと緊張の気持ちのまま緩める事はなく、やっと出番になりました。巨大な緊張感が増し自分に落ち着けと言いつけても緊張しました。ステージのライト



(ディズニーランドにて 柏齡太鼓團)

が点き礼の後に太鼓の第一打の音で心が落ち着き、無数に練習して来た課題曲と挑戦を最後まで演奏することが出来ました。

成績発表では残念ながら理想の成績ではなかったです。結果を受け止める経験をいただき、新たな始まりと信じております。日本太鼓財団の皆様、大会のスタッフに心より感謝いたします。また、指導の先生や一緒に頑張った仲間たちにも感謝！次のコンクールに期待します。



(プレゼント交換の様子)

### 第95回日本太鼓支部講習会（北海道道北）

6月22・23日（土日）旭川市「永山市民交流センター」

支部講習会が北海道道北支部主催にて開催され、地元北海道を中心に18名が参加しました。開会式では北海道道北支部 安田 優司 支部長から歓迎と励ましの挨拶があり、講習会が始まりました。

一足早い夏の暑さに負けず、受講生は2日間熱心に受講していました。

- 総合指導・5級基本講座 古屋 邦夫
- ◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。
- 5級検定 11名受検 11名合格・認定



(5級基本講座)

### 第16回台湾太鼓講習会

7月6・7日（土日）桃園県「救國團復興青年活動中心」

台湾太鼓講習会が台湾太鼓協会主催にて開催され、台湾全土から139名が受講しました。開会式では、王妙涓理事長の挨拶に続いて日本からの講師を紹介され、総合指導の古屋邦夫技術委員長が講習会の内容を説明しました。講習会が始まると、受講生は講師の指導を一生懸命聴いていました。

- 基本講座
  - 3級基本講座 野方 嘉孝
  - 4級基本講座 松枝 明美
  - 総合指導・5級基本講座 古屋 邦夫
- 専門講座
  - 単式単打法講座（担ぎ桶） 長谷川 義

- ◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。
- 1級検定 4名受検 4名合格（1名認定）
- 2級検定 14名受検 14名合格（7名認定）
- 3級検定 26名受検 26名合格・認定
- 4級検定 34名受検 34名合格・認定
- 5級検定 58名受検 58名合格・認定



(単式単打法講座)

## 各種会議

各種会議を開催し、以下の事項が審議、承認されました。

### <理事会>

2024年度第1回理事会

6月4日(火)開催

1. 2023年度事業報告(案)
2. 2023年度決算報告(案)
3. 評議員候補者の推薦
4. 日本太鼓財団京都府支部の設立
5. 太鼓ファンドにかかわる覚書の締結  
報告事項 職務執行状況について

2024年度第2回理事会

6月21日(金)開催

1. 会長及び副会長並びに常務理事の選任
2. 役員賠償責任保険の加入

2024年度第3回理事会(書面)

1. 令和6年能登半島地震における太鼓支援活動の  
助成金申請

### <評議員会>

2024年度定時評議員会

6月21日(金)開催

1. 2023年度事業報告(案)
2. 2023年度決算報告(案)
3. 定款の一部変更
4. 理事、監事及び評議員の報酬等支給基準規程の  
一部変更
5. 任期満了に伴う理事・監事の選任
6. 退任理事・監事・評議員への退職慰労金の支給  
及び代表理事並びに常勤理事の報酬額

### <評議員選定委員会>

第2回評議員選定委員会(書面)

1. 評議員の選任

### <運営委員会・技術委員会>

第77回運営委員会・第83回技術委員会

7月12日(金)開催

1. 2023年度事業報告並びに決算報告
2. 2024年度事業計画並びに収支予算
3. 令和6年能登半島地震に関わる支援活動
4. 大阪・関西万博
5. 第9期公認指導員更新研修会
6. 一般会員(個人)の入会

### <代議員会>

第27回代議員会

7月12日(金)開催

1. 2023年度事業報告並びに決算報告
2. 2024年度事業計画並びに収支予算
3. 令和6年能登半島地震に関わる支援活動  
\*関連記事は10ページに掲載しております
4. 大阪・関西万博  
\*詳細は10ページに掲載しております

## 理事・監事・評議員一覧

任期満了に伴う改選により、理事・監事・評議員は以下のとおりとなりました。(五十音順・敬称略)

会 長(代表理事)	長谷川 義	評 議 員	浅野 昭利(新任)
副 会 長	古屋 邦夫(新任)		岩切 邦光
常務理事(代表理事)	佐々城 清		河合 睦夫
理 事	相澤 佳余(新任)		小林 一郎(新任)
	太田 義高(新任)		佐藤 淳子
	玉澤 正徳(新任)		高野 右吉(新任)
	山内 強嗣		田中 泰秀(新任)
	湯澤 元一(新任)		中西 由郎(新任)
監 事	伊藤 勝彦		西川恵美子(新任)
	金子 明(新任)		吉倉 和宏(新任)

## 運営委員・技術委員一覧

任期満了に伴う改選により、運営委員・技術委員は以下のとおりとなりました。(五十音順・敬称略)

運営委員長 佐々城 清 (新任)  
運営委員 浅野 昭利  
岩切 邦光  
江口信一郎 (新任)  
太田 義高  
長谷川 義  
古屋 邦夫 (新任)  
丸山 拓也  
宮本 芳彦  
湯澤 元一

技術委員長 松枝 明美 (新任)  
技術顧問 古屋 邦夫 (新任)  
技術委員 川原 邦裕  
鈴木 孝喜  
高島 奈々 (新任)  
野方 嘉孝 (新任)  
長谷川 準  
長谷川 義  
安江 信寿  
若山 雷門 (新任)

## 日本太鼓財団理事長の退任にあたり

大澤 和彦



この度、任期満了をもって理事長職を退任させていただくことになりました。思い起こせば、日本国民音楽振興財団(現・日本音楽財団)で活動していた一部署を、日本船舶振興会(現・日本財団)のご支援を得て全日本太鼓連盟として設立し、1997年には法人化、2012年には公益財団法人日本太鼓財団として活動することとなりました。

設立にあたっては、1970年に開催された大阪万博で面識のあった御諏訪太鼓の小口大八・古屋邦夫両先生、御陣乗太鼓の池田庄作先生、秩父屋台囃子の高野右吉代表、助六太鼓の今泉豊・小林正道両代表、猿羽根流の龍・連山代表、九州からゆふいん源流太鼓の長谷川義代表、浅野太鼓の浅野義幸当主(いずれも当時)達が中心となりました。任意団体として全日本太鼓連盟を設立し、法人化に向けて活動を開始しました。

今では考えられないような懐かしい思い出も多くあります。設立に向け会議で決まった事案を、次の会議では正反対の事案に決定するなどは当たり前でした。私に課せられた使命は会議に出て決定事項を報告する事であり、会議での発言権はありませんでした。そのストレスたるや、筆舌に尽くせない程でした。そこで、辞める覚悟で当時の常務に直訴して、会議での発言が許されるようになりました。ただ、太鼓界では余所者であるため、嫌な奴と思われていたと思います。

設立以降は、新事業として今も続く各種の事業を展開する一方、技術の向上を目的に教本を発行しました。教本の作成にあたっては技術委員会設立から2024年7月まで技術委員長として指導されてきた古屋邦夫先生と、新たに技術委員長に就任された松枝明美両先生の全面協力をいただきました。心より感謝しております。

これからも、日本財団のご支援をいただきながら、長谷川会長を筆頭に会員一同、一致団結して太鼓を世界中に普及・振興されるよう頑張っていたいただき、日本太鼓財団が更なる発展を遂げられることを心より祈念し、退任の挨拶といたします。

### 【略歴】

1946年 東京生まれ  
1991年 日本国民音楽振興財団入団  
全日本太鼓連盟業務に従事  
1998年 財団法人 日本太鼓連盟(当時) 入団  
2016年 公益財団法人 日本太鼓財団 常務理事就任  
2020年 公益財団法人 日本太鼓財団 理事長就任



(1998年小口先生と)

## 日本太鼓財団副会長の退任にあたり

高野 右吉



この度(公財)日本太鼓財団の副会長を退任致しました。在任中は故小口大八先生、塩見理事長、大澤理事長をはじめ財団職員の皆様、太鼓関係者の皆様大変お世話になりました。また、技術委員として33年間、働きの機会を与えていただきましたことに、心より御礼申し上げます。

財団創立20余年、財団はまさに、日本の太鼓の発展、躍進の基盤となり、推進役となってきました。国内に巻き起こった和太鼓ブームは、世界的な和太鼓ブームへと発展。和太鼓は世界に紹介されると共に、海外から多くの人々が和太鼓の修練のために、日本各地を訪れるに至っています。また和太鼓は、学校教育に取り入れられ「音楽」としても学ばれ始めました。そして和太鼓は民族芸能、民族音楽として認知されるに留まらず、国境を越えて通じる「世界の音楽の一つ」として認知されるに至っています。さらにまた財団は、全国各地での和太鼓講習会、全国太鼓フェスティバル、ジュニアコンクール、シニアコンクール、大学フェスティバル等々の和太鼓の伝承、発表の場を設け、和太鼓が将来に渡り栄えんことを期して活動してきました。

こうした和太鼓の発展、躍進の基盤となり、推進役となってきたのは、日本太鼓財団に他ならないことを改めて覚えるにつけ、この日本太鼓財団の躍進期にあって役員として働く機会を与えられたことに、私は沸き起こる喜びと感謝の念を禁じ得ません。

全国各地での講習会や各種の大会に出席した際、地元役員の皆様、太鼓関係者の皆様から貴重な意見をいただけてまいりました。こうした経験を私自身の宝とし、今後、日本太鼓財団の評議員として、微力ながらも「日本の太鼓」の発展、財団の発展のために努めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

## 日本太鼓財団副会長に就任して

古屋 邦夫

2024年は能登半島地震や航空機事故での幕開けとなりました。被災された方々、関係者の皆様方が1日も早く元通りの生活が出来る事を願うばかりです。

1998年技術委員長に就任して以来26年間、歴代の理事長をはじめ多くの方々と資格認定制度や講習会、ジュニアコンクール事業などにおける基盤固めをしてまいりました。この間、全国の打手の皆様ならびに技術委員会の委員の仲間たちにも支えられ、現在まで無事に務める事が出来ましたこと、心より感謝申し上げます。

また2016年より2期評議員も務め、様々な経験をさせていただきましたが、この度6月の理事会において副会長に就任いたしました。会員の皆様と本部事務局との橋渡し役としてお役に立てればと思っております。

これからも会員の皆様のお力添えをいただきながら、副会長としての職務を務めてまいりたいと思いますので、引き続きご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



## 日本太鼓財団技術委員長に就任して

松枝 明美

昨年に匹敵する猛暑、また、突然の豪雨等皆様におかれましては日々大変な毎日をご過ごされているのではないのでしょうか。

さて、この度7月12日に開催されました運営委員会・技術委員会におきまして、技術委員長の職を拝命いたしました。

1980年、故小口大八氏を師事し、太鼓界に入門以来44年。国内外の公演に参加するとともに数々のチーム指導に努めてまいりました。太鼓財団においては、1996年に1級公認指導員を取得し、講習会の講師として国内はもとより台湾・ブラジルへも訪問し、現地受講生の熱い意気込みを感じてまいりました。多くの人との出会いから学んだことはすべてが宝物です。心技体、3つの要素バランスも重要視し、太鼓を愛する仲間同士の人間関係も大事にしたいと思っております。

2020年に技術委員を拝命して4年。1998年から26年間技術委員長としてご指導いただいた古屋委員長の後を引き継ぐことはそれなりの覚悟が必要だと感じております。新しい技術委員の意見も取り込み、築き上げの継続やブラッシュアップとともに、技術力の向上のため、技術委員長の職務を遂行してまいりたいと存じます。どうぞよろしくご協力のほどお願い申し上げます。



## 新支部設立のお知らせ

6月4日(火)に、新たに京都府支部が設立されました。これにより開設された支部の数は47支部(43都道府県)となりました。支部長からご寄稿いただきましたので、掲載いたします。

### 京都府支部開設のご挨拶

京都府支部 支部長 藤本 邦雄

今年6月に京都府支部を開設できました。京都府は南北に長く、山城地域と丹後地域とは気候風土に違いがあり、太鼓文化の面でも、北部地域は何百年も昔から引き継がれた伝統ある太鼓のスタイルを大切に守っている団体が多くあり、南部地域では新しいスタイルの創作太鼓団体が多く活躍しています。

京都府には40年ぐらい前から活動を続けている連合組織がありますが、そのような太鼓団体や、まだ繋がりを持たない団体とも連携しながら少しずつ連帯の輪が広がっていければ、と願っています。



#### <加盟団体9団体・会員数139名> (五十音順)

京都光華中学高等学校和太鼓部、京都府立淇陽学校、京都 和太鼓 龍船、元巨匠椋っ鼓、鼓魂、鼓羽和太鼓クラブ、摩気太鼓、和太鼓 成蓮、和太鼓 わかば

#### <事務局>

〒611-0032 京都府宇治市寺山台1丁目1-21  
事務局長 岡本清臣

### 「更新条件の追加」の変更について

7月12日(金)に開催された第77回運営委員会・第83回技術委員会にて更新条件が以下の通り、変更になりました。

#### 1. 更新条件の追加

次回の第9期更新研修会の前年度まで(2023年4月1日から2025年3月末日)に、全国・支部講習会問わず更新講習(3級・4級・5級基本講座のいずれかに参加)、または講習内検定の受検を義務付ける。

なお、更新講習として参加する場合は1日目のみの参加(2日目は自由参加)を可とし、受講料は免除とする(参加費のみ自己負担)。

※講習内検定に参加する場合は、講習内検定料及び参加費を支払うこと。

(変更後)

次回の第9期更新研修会終了まで(2023年4月1日から2026年3月末日)に、全国・支部講習会問わず更新講習(3級・4級・5級基本講座のいずれかに参加)、または講習内検定の受検を義務付ける。

(以下省略)

#### 2. 更新期間

2025年4月1日から2026年3月末日まで

対象となる講習会(予定)

- ・第73回日本太鼓全国講習会(富山県予定)
- ・第74回日本太鼓全国講習会(福岡県予定)

※前回は要望に応じて、全国講習会以外に支部講習会2回(北海道・東北)を更新研修会の対象とした。

#### 3. 更新の方法

日本太鼓資格認定規程において3年毎に更新することが定められています。また、細則において、更新の当該年度に開催する公認指導員更新研修会に出席することが定められています。

現行の2日間開催を、1日目の参加は必須、2日目は自由参加として、実質1日開催へ短縮しました。

## 「大阪・関西万博1000人太鼓合同演奏」が7月13日（日）に変更されました

2025年開催予定の「大阪・関西万博1000人太鼓合同演奏」に、より多くの会員にご参加いただくため折衝を続けてまいりましたが、7月13日（日）に変更、実施できることとなりました。

参加申込みの受付を9月中旬以降に開始します。皆さまのご参加をお待ちしております。

今後のスケジュールは以下のとおりです。また、下記QRコードより合同演奏曲「いのちの響宴」のデモ演奏動画をご覧ください。

### スケジュール

- 2024年9月中旬以降 参加申込のご案内（オンライン）
  - ・第1回アンケート同様、各支部を通じてのグーグルフォームでの受付を予定しております。ネットでのご対応が難しい団体は、メール・FAX回答でも可です。
  - ※参加に係る諸条件（参加者へのお願い、当日予定等）は、第1回アンケートと異なる部分がありますので、ご確認の上、お申込みください。
- 2024年9月～2025年7月 練習期間
  - ※各支部での合同練習について、会場使用料の補助（上限あり）を致します。補助に係る申請手順等は、別途ご案内します。
- 2025年7月13日（日） 本番演奏



## 令和6年能登半島地震の寄付について

前回の会報104号から8月末までの寄付者・団体をお知らせします。「日比谷音楽祭」のクラウドファンディングを通じて寄付金609,000円を頂戴しました。参加して下さった174名の方々、心温まるご支援を誠にありがとうございました。

### ■北海道道東支部

広尾陣屋太鼓保存会

### ■個人

西岡 知則

### ■その他

日比谷音楽祭クラウドファンディング

「令和6年能登半島地震」支援報告については右記QRコードよりご確認ください。



## 助六太鼓が「太平洋島嶼国ウィークス」に演奏協力

7月8日（月）～19日（金）に太平洋島嶼国で様々な活動が続けてきた笹川平和財団が「太平洋島嶼国ウィークス」を開催しました。本イベントの一環として7月9日（火）に開催されたレセプションに太鼓演奏の依頼があり、助六太鼓（東京）が出演して演奏を披露いたしました。当日会場では主にパラオから来日した大人から子どもまでたくさんの参加者が踊るように打ち込む粋な演奏に見入っていました。



## 事務局だより

### 第96回日本太鼓支部講習会（北海道道西）

期 日:2024年9月28・29日（土日）  
会 場:幌向総合コミュニティーセンター ほっとかん  
〒069-0371 北海道岩見沢市幌向南1条1丁目70-5 Tel.0126-26-1548  
主 催:日本太鼓財団北海道道西支部  
総合指導・4級基本講座 松枝 明美（技術委員会委員長）  
総合指導・5級基本講座（初心者講座） 古屋 邦夫（技術委員会技術顧問）  
<お問合せ>  
日本太鼓財団北海道道西支部 支部長 秦野 智徳  
〒069-0372 北海道岩見沢市幌向南2条3丁目315-18  
Tel. 080-1899-5761  
\*今年度の全国講習会の実施は1回（2月・鹿児島）のみになります。

### 第26回日本太鼓全国障害者大会

期 日:2024年10月6日（日）開場11:30 開演12:00 終演16:00予定  
会 場:DMG MORIやまと郡山城ホール  
〒639-1160 奈良県大和郡山市北郡山町211-3 Tel. 0743-54-8000  
主 催:公益財団法人 日本太鼓財団  
共 催:社会福祉法人 富岳会  
主 管:日本太鼓財団奈良県支部  
協 賛:日本財団  
出場団体:23団体

### 第39回国民文化祭／第24回全国障害者芸術・文化祭 「清流の国ぎふ」文化祭2024「太鼓の祭典」

期 日:2024年10月20日（日）開場10:00 開演10:30 終演17:00予定  
会 場:不二羽島文化センター  
〒501-6244 岐阜県羽島市竹鼻町丸の内6丁目7番地  
主 催:文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024 実行委員会、羽島市、  
羽島市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024 羽島市実行委員会、  
公益財団法人日本太鼓財団  
主 管:日本太鼓財団岐阜県支部、岐阜県太鼓連盟  
協 賛:日本財団  
出演団体（予定）  
◇オープニング:日本太鼓財団岐阜県支部合同チーム（岐阜）  
◇公募団体:26団体（16都府県・台湾）  
天邪鬼流 和太鼓 麗彩、上石津もんでこ太鼓保存会「弾」、岐阜勇爽太鼓、鼓國雷響JAPAN、天保宮下太鼓、  
ファミリーユニット童鼓、美濃の国 羽島太鼓（以上、岐阜）、奥州白河太鼓（福島）、野州轟一番太鼓（栃木）、  
華音（神奈川）、東京都立篠崎高等学校（東京）、山梨県立笛吹高等学校すいれき太鼓部（山梨）、  
中日本太鼓連合（長野）、朝霞太鼓、和太鼓 大地（以上、石川）、  
大治太鼓保存会、海東流神楽太鼓、清須市清洲伝統芸能保存会（以上、愛知）、保倉川太鼓（新潟）、  
御璃刃、近鉄百貨店諏訪太鼓（以上、三重）、向日かぐや太鼓（京都）、DRUM 輪（和歌山）、  
広島庚午太鼓団（広島）、福岡大学 学術文化部会 和太鼓部「鼓舞猿」（福岡）、台湾太鼓協会-柏齡太鼓團（台湾）  
◇ゲスト団体:5団体（5県）  
御諏訪太鼓保存会（長野）、志賀疾風太鼓保存会（石川）、尾張新次郎太鼓保存会（愛知）、  
九州 音鼓組（長崎）、三代目源流（大分・第26回日本太鼓ジュニアコンクール優勝団体）

## 第8回浅草太鼓祭

期 日:2024年11月3日(日祝) 開演12:00 \*雨天中止  
会 場:隅田公園山谷堀広場(山谷堀広場台東リバーサイドスポーツセンター脇)  
〒111-0024 東京都台東区浅草7-1  
主 催:浅草太鼓祭実行委員会、日本太鼓財団東京都支部  
主 管:関八州太鼓連合、特定非営利活動法人 東京都太鼓連合  
特別協力:株式会社 宮本卯之助商店  
特別協賛:公益財団法人 日本太鼓財団  
後 援:日本財団  
出演団体:15団体程度

## 第21回日本太鼓シニアコンクール

期 日:2024年11月17日(日) 開演13:30  
\* 10:00 ~日本太鼓ジュニアコンクール石川県予選開催  
会 場:石川県小松市團十郎芸術劇場うらら  
〒923-0921 石川県小松市土居原町710番地  
主 催:公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟、一般財団法人 石川県芸術文化協会、  
北國新聞社  
主 管:日本太鼓財団石川県支部  
特別協力:株式会社 浅野太鼓楽器店  
協 賛:日本財団  
出場団体:30組程度

## 日本太鼓財団・公式LINEアカウント開設のお知らせ

この度当財団では、公式LINEアカウントを開設(試験運用)することになりました。下記QRコードを友だち追加のページから読み込み、ご登録のほどよろしくお願い申し上げます。



なお、本アカウントでは当財団から情報が発信されます(チャット・会話・返信等はできません)。お問合せは下記メールアドレスまでお願いします。  
info@nippon-taiko.or.jp



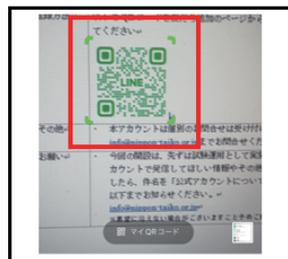
- ①LINEを開く
- ②下部にある「ホーム」をタップ



- ③右上のアイコンをタップ



- ④「QRコード」を選択



- ⑤QRコード読み取り
- ⑥友達追加



公益財団法人 日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email: [info@nippon-taiko.or.jp](mailto:info@nippon-taiko.or.jp)

